



Q：最近胃の痛みが続いていて、胃潰瘍(かいよう)ではないかと心配です。検査をしたほうがいいのでしょうか(45歳 男性 会社員)

A：年末は飲酒の機会が多く、忙しさからストレスがたまりやすいので、出血性の胃潰瘍が多い時期です。胃痛が続いたり、吐き気があると、胃潰瘍の可能性があります。



放っておくと、出血や穿孔(せんこう)で緊急手術となることもあるので、注意が必要です。早めに専門医に相談しましょう。

胃潰瘍は、早期診断・内服治療を行えば、薬で治る時代です。ただ、薬によって自覚症状が消え「治った」と思い治療を中断すると、再発することも。また、ピロリ菌の感染があると、潰瘍を繰り返すこともあります。この場合、除菌治療が必要となります。

内視鏡は、苦手な人が多いのですが、最近では、鼻から挿入する経鼻(けいび)内視鏡があります。「楽にできる」と言われるので、内視鏡による検査が苦手な人は一度お試しください。

(岡田俊一・おかだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニッコー北口駅前ビル2F)

☎0555・2888・1801